

御 菌 小 だ よ い

平成24年12月10日
伊勢市立御菌小学校

No. 36

校長室より

先週からの冷え込みは、厳冬期以上とか……。本当に寒い朝が続いています。でも、私の子どもの頃は、冬はもっと寒かったように思います。いつも気温は零度を下回っていたのではないのでしょうか。地球温暖化の影響なのかも知れませんね。

ところで、先週の火曜日と水曜日に、子どもたちが氷を持ってやってきました。どちらの子どもも、とても大切そうに手のひらに小さな氷をのせて、信号のところまでやってきました。「氷みつけたよ。」「氷があったよ。」と興奮気味に話してくれます。「どれどれ。」と私が言うと、小さな手のひらをそっと開いて、氷の破片を見せてくれました。手のひらの温かさで、氷はどんどん溶けて小さくなっています。「冷たくないの？」と私が聞くと、どちらの子どもも、「うん。」とうなずいて、また大切そうに手のひらを閉じると、落とさないように、慎重に信号を渡っていきます。きっとクラスのお友達に見せてあげたくて、冷たい氷を持ってきたのでしょう。「教室まで溶けなければいいけどな。」と思いながら、子どもたちの背中を見送りました。



子どもたちにとっては、道路に張った氷も、小さな花びらも、一個の小さなネジさえも、きらきらと光り輝く宝物に見えるのでしょう。だから、子どもたちの瞳は、いつもきらきらと輝いているのですね。

赤い羽根共同募金 ～児童会のみなさんの取り組み～



児童会のみなさんが中心になって、赤い羽根共同募金の活動をしてくれました。学校開放日にも活動していましたから、もしかしたらご協力いただいた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。このほど、この募金を社会福祉協議会へ届けにいただきました。集まった額は12,535円。

みなさんから寄せていただいた善意は、県の共同募金会を通じて、社会課題を解決するための活動や、様々な地域課題を解決するための活動を行う団体に対して助成されます。ご協力、ありがとうございました。

教育美術展 ～いせトピアで～

伊勢市内の小中学校のみなさんの作品展が、去る12月1日・2日にいせトピアで開催されました。本校からも図画や習字の作品、5年



生からの立体作品が出品されました。会場には両日ともにたくさんの方が来場され、子どもたちの力作に見入っていました。

いきがい(御菌通所介護事業所)を訪問 ～2年生～

先週の水曜日、2年生の子どもたちが、「デイサービスセンターいきがい」を訪問しました。生活科の一環として、お年寄りのみなさんと交流するためです。

センターに着いた子どもたちは、さっそくおじいさん・おばあさんの前で、歌や踊りを披露しました。元気な子どもたちの歌や踊りに、涙ぐんでみえる方もいらっしゃいました。センターの方に伺うと、みなさん子どもたちが来てくれるのを、とても楽しみにしてくれていたそうです。子どもたちが帰るときには、口々に「ありがとう。」とおっしゃってくださいました。中には子どもたちの手をしっかり握って、「また来てな。」と名残惜しそうにしてみえる方もいらっしゃいました。頑張った子どもたちは、とても満足げで、いつもよりお兄さん・お姉さんに見えました。



避難訓練 ～休憩時間の訓練～

今年度三回目の避難訓練を6日(木)に実施しました。今回の訓練は、休み時間中の大地震を想定して行われました。10時20分(休憩時間)に地震発生の放送が流れると、子どもたちは自分の身を守るポーズを取り、自分のいる場所に止まります。そして揺れが収まってから、それぞれに第一次避難場所になっている運動場に移動しました。もちろん授業中の避難に比べると、ずいぶん時間がかかりましたが、みんなとても迅速に避難することができました。



ところで、今回の避難訓練をいつ実施するかについては子どもたちに伝えてありませんでした。でも、当日までにいろいろと指導することがありますから、近々あるということは知っていました。ですから、いろんな子どもたちから、「今日避難訓練あるの?」「いつ訓練やるの?」という質問をされました。そのたびに、「さあ、いつやろなあ。」ととぼけておいたのですが、職員室の予定黒板をのぞきに來る子(もちろん黒板にも書いてありませんでしたが)もいました。低学年の子どもたちの中には、「先生、放送がかかったときは、すごく怖かったわ。」と話す子もいました。

阪神淡路大震災は午前5時46分、東日本大震災は午後2時46分でした。地震はいつ起こるかわかりません。ですから、休み時間の訓練は絶対必要です。子どもたちには、いつ地震が起こっても、自分の命を守れるような心構えを持っておこうと話しました。お家でも、もしものときのための話し合いを持ってください。でも、こんな訓練が役立つ日は来てほしくないですね